

化学技術工学科にインタビュー！

化学技術工学科の方に、授業や学校生活についてお話を伺いました。

○インタビューを受けてくださった方

田中 あおいさん

化学技術工学科3年生。勉強、部活動、資格取得など学校生活全般に前向きに取り組み、それが成果となって表れている。

田内 壮汰さん

化学技術工学科2年生。化学に関する探求心に優れ、さらに深い学びを目指している。化学研究部での活動は後輩のお手本である。

どんなことを勉強するの？

—専門教科の中で、特に好きな専門教科について教えてください。

田中 「工業化学」です。

化学の基礎を詳しく教えてくれ、先生の授業が分かりやすいからです。

田内 「工業化学」です。

化学に関する基本的な知識を学習しています。

一言で表現するのは難しいですが、中学校までの理科について、化学的でミクロな視点から学習しているものが多いです。

例えば水は何故、固体に比べて液体の方が重いのか。電離しない物質が「溶ける」とはどういった状態で水の中に存在するのか？ということです。好きな教科にした理由はこれまでにつけた知識を交えて理解する楽しさがあり、理論から具体的なイメージを想起させることができるようになる成長も感じられるからです。

—実習の中で、特に楽しかった実習について教えてください。

田中 SEM(走査電子顕微鏡)です。

虫や髪の毛などを拡大しました。細かな構造まで分かるので、面白いです。

田内 酢酸エチルの合成です。

化学的には、酢酸とエタノールから酢酸エチルを合成するのですが、身近なもので表現すると、お酢と消毒液からマニキュア除光液を合成する実習です。還流を体験することができて楽しかったです。液体を混合するだけでは進んでいけない化学反応を蒸留や還流などで反応させる操作を理解することが出来ます。

専門教科って難しいの？

—専門教科と聞くと難しそうですが、ついていくのは大変ですか。

田中 大変ではありません。

図や表、写真を使って説明してもらえるので、身近に感じることができるからです。

田内 疑問に思うような点があれば、質問するだけで先生方が懇切丁寧に教えていただけるので、心配することはないです。化学が好き、面白いという気持ちがあればどんどん学んでいきます！

どんな資格・検定を取得するの？

—これまでに取得した・取得を目指した資格や検定の中で、特に頑張ったものについて教えてください。

田中 危険物取扱者乙種全類です。

危険物全てが取り扱えます。問題集を解いて、性質などを覚え、取得しました。

田内 危険物乙種4類です。

引火性の液体を取り扱えるようになる資格で、管理、運搬、貯蔵、種類、性質など適切な取り扱いができるような知識が問われます。

対策に授業としての時間をとっていただいた資格で、全員が受験するということから教え合いが盛んで楽しくできました。

どんな先生が教えて下さるの？

—化学技術工学科、自慢の先生を教えてください。

田中 生徒思いで、優しく、いろんなことを知っていて、話しやすく、信頼できる先生です。

田内 化学技術工学科の先生全員が優しく、特に誰というのは難しいです。特に自慢の先生は、生徒の視点に立って考えてくれる先生で、そういう先生は中学校までにもいましたが、格が違います。



どのように部活に取り組んでいるの？

—所属している部活動について教えてください。また、頑張っていることを教えてください。

田中 吹奏楽部です。

練習や自習練を行い、自分が吹きたい音に近づけるように、部活の人たちと一緒に練習してきました。

田内 化学研究部です。

分析の大会や機器による分析及び観察、消しゴムづくりやスライムづくりから学科の道具の修理まで幅広く活動しています。僕は高校生のための研究発表の大会に参加するためのグループにいます。

—部活動と勉強の両立をどのように頑張っているのですか。

田中 テスト1週間前になると部活が休みになるので、勉強に取り組む時間はあります。

田内 毎時間の授業を大切にしています。

中学生へメッセージ

田中 就職が安定しており、大手企業もあります。

化学技術工学科を卒業するときに毒物・劇物取扱責任者という国家資格の有資格者になれます。

田内 岐阜工業高校の学科選択で迷っている人と言うのならば、他の学科と比べると、学習内容が特徴的で生活の視点が変わる楽しさを秘めています。



—インタビューを受けてくださり、ありがとうございました。

田中・田内 ありがとうございました。

インタビューを終えて

化学技術工学科は化学の勉強に加え資格取得にも挑戦することができ、合格に向け皆で勉強することが出来る学科だと感じました。興味をもって貰えたら、是非、化学技術工学科を見学してみたいかがでしょうか。

この記事は令和4年12月時点での情報です。

作成：令和4年度 後期生徒会